

DXの推進に関する条例の検討に係る オープンハウス実施結果

■ 開催概要

日時: 令和6年7月14(日) 午前10時から午後4時

会場: アリオ橋本

■ 実施方法

パネルにより「デジタル×まちづくり」をテーマとした基本的な考え方などについて説明・対話を行い、シールやふせんにより御意見をいただきました。

■ 参加者数

89人

年齢	参加者
～19歳	10人
20歳～29歳	3人
30歳～49歳	52人
50歳～69歳	20人
70歳以上	4人

DXの推進に関する条例の検討に係る オープンハウス実施結果

■ パネル内容

デジタル×まちづくり

アンケート
調査中!

～ともに考える、さがみはらの未来～

相模原市では、「デジタル×まちづくり」をテーマに、
「(仮称)DX推進条例」の制定を検討しています。

なぜ、デジタル？

人口減少・少子高齢化や労働者人口の減少は全国的な社会問題になっており、本市も例外ではありません。
このままでは、これまで便利に使えていたサービスが使えなくなるなど、**社会活動や経済活動に大きな影響**が出ることも考えられます。

そこで、「デジタル」の定番！

デジタル技術には「自動化」や「離れた空間を繋ぐ」などの特性があります。
デジタル技術が未来を切り拓き、新しい「さがみはら」を作っていくことが期待されています。

DXってなに？

「DX」は「デジタル・トランスフォーメーション」の略語です。
様々な解釈がありますが、相模原市では、「**デジタル技術も活用して、良い方向へ再デザインすること**」であると考えています。
相模原市では「DX」により、「まち」(人々が集い、暮らす日常)の再デザインに取り組んでおり、具体的な方向性等を定めた「(仮称)DX推進条例」の制定を検討しています。

DXでどう変わるの？

例えば、

- ▶離れた場所からでも必要なサービスを受けられる
- ▶新しい出会いが見つかり、人と人の交流が盛んになる
- ▶一人ひとりに寄り添った情報で、日常にあらたな発見をもたらす

※これはあくまで案です。皆さまのご意見やアイデアを参考に検討してまいります。

皆さんが考える未来の「まち」はどのような姿ですか？
ご意見をお寄せください！

Question 1 市がデジタルによってどんなまちになることを期待しますか？

ペーパーレスで情報をラクラク管理
(例) 請求書、領収書などをクラウドで取り扱う

仕事などの効率を上げて、自分らしい生活ができる
(例) 働き方を自分で決め、思い通りの時間を過ごす

様々な場面で新しい技術が活用できる
(例) デジタル技術を使って仕事効率に差別化を図る

いつでも、どこでも人がつながる、やさしくて、あたたかい地域
(例) 遠隔からの相談や指導を受けやすくなる
またコミュニケーションできる

知りたい情報がすぐに手に入る
(例) 知りたいジャンルへの検索や行政・民間問わず
アプリを通じて受けられる

その他
(付せんこ内容をお書きください)

Question 2 市にどのような取り組みを希望しますか？

いつでもどこでも申請できる行政サービスの実現
(例) 子育て支援や子育てまなびから就職や子育て
移行しつつも、どこでもできる

個別最適化された教育機会の実現
(例) 学びたい分野やキャリアプログラムが
市内のどの所でも受けられる

「先進的なまち」として市をブランド化し魅力発信
(例) 独自の新しい施策や取り組みを推進することができ、
日本一率先実践するまちとしてアピール

IT企業等の誘致による地域経済の活性化
(例) 産業クラスターを推進し、人材育成などが
誘致に打たれる活発な経済の発展

その他
(付せんこ内容をお書きください)

Question 3 「デジタル×まちづくり」についての自由意見

DXの推進に関する条例の検討に係る オープンハウス実施結果

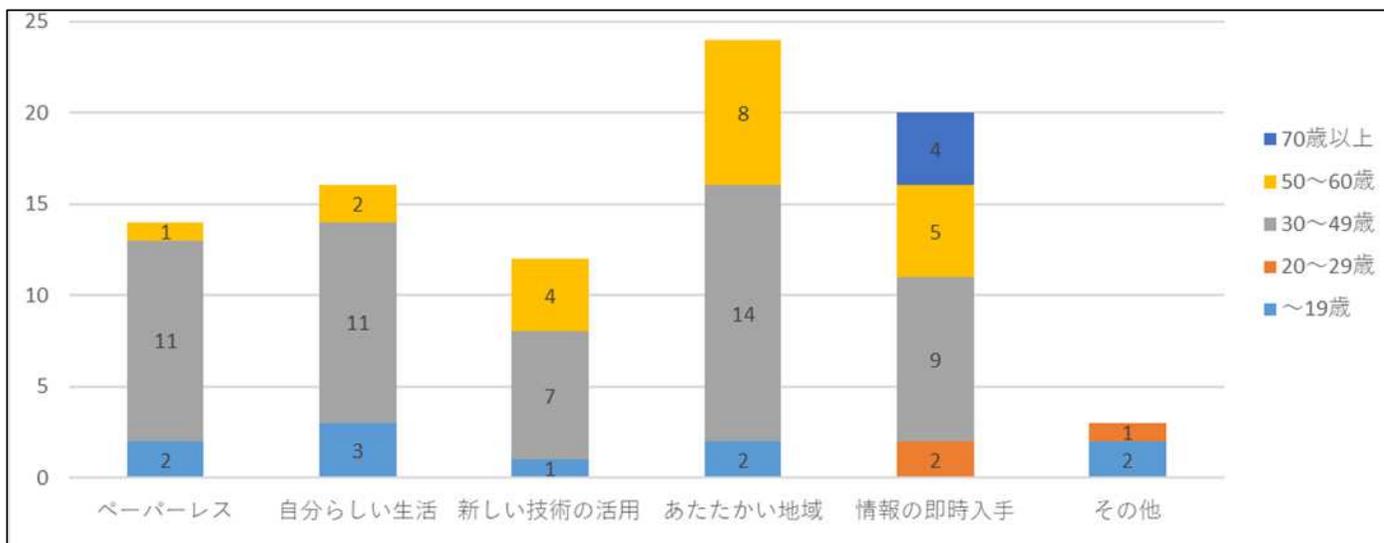
■ 実施中の様子



① 市がデジタルによって どんなまちになることを 期待しますか？	② 市に どのような取り組みを 希望しますか？
<p>ペーパーレスで情報をラクラク管理 <small>(例) 請求書、領収書などをデータで受け取り</small></p>	<p>いつでもどこでも申請できる行政サービスの実現 <small>(例) 必要な手続きはスマホなどから申請や申込みを 済ませたい。どこでもできる</small></p>
<p>仕事などの効率を上げて、自分らしい生活ができる <small>(例) 働き方をAIで作成し、欲しい時間を確保したい</small></p>	<p>個別最適化された教育機会の実現 <small>(例) 受けたい授業やカリキュラムが 市内のどの学校でも受けられる</small></p>
<p>様々な場面で新しい技術が活用できる <small>(例) アプリ技術を使って仕事が増え便利で効果的に</small></p>	<p>「先進的なまち」として市をブランド化し魅力発信 <small>(例) 市民が新しい情報をいち早く知ることができ、 日本一最先端的なまちとしてアピール</small></p>
<p>いつでも、どこでも人がつながる、 やさしくて、あたたかい地域 <small>(例) 遠方の人と仲間や距離を問わず コミュニケーションできる</small></p>	<p>IT企業等の誘致による地域経済の活性化 <small>(例) 働きやすい環境づくりにより、技術開発などが 盛んに行われる活発な経済の実現</small></p>
<p>知りたい情報がすぐに手に入る <small>(例) 知りたいジャンルの情報を行政・企業問わず プッシュ通知で受け取れる</small></p>	<p>その他 <small>(付せんに内容をお書きください。)</small></p>
<p>その他 <small>(付せんに内容をお書きください。)</small></p>	<p>その他 <small>(付せんに内容をお書きください。)</small></p>

DXの推進に関する条例の検討に係る オープンハウス実施結果

【設問①】市がデジタルによってどんなまちになることを期待しますか？



<回答結果>

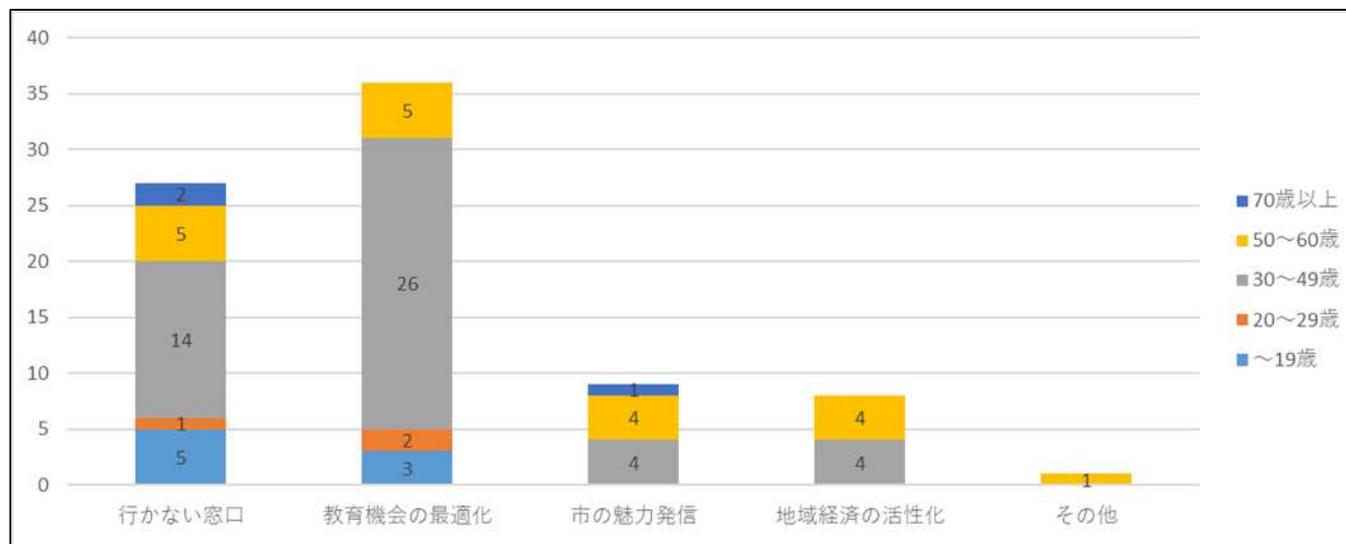
- ・ペーパーレス化 14人
- ・自分らしい生活 16人
- ・新しい技術の活用 12人
- ・あたたかい地域 24人
- ・情報の即時入手 20人
- ・その他 3人

<選択肢>

- ・ペーパーレスで情報をラクラク管理 (ペーパーレス)
- ・仕事などの効率を上げて、自分らしい生活ができる (自分らしい生活)
- ・様々な場面で新しい技術が活用できる (新しい技術の活用)
- ・いつでも、どこでも人がつながる、やさしくて、あたたかい地域 (あたたかい地域)
- ・知りたい情報がすぐに手に入る (情報の即時入手)
- ・その他

DXの推進に関する条例の検討に係る オープンハウス実施結果

【設問②】市にどのような取り組みを希望しますか？



<回答結果>

・行かない窓口	27人
・教育機会の最適化	36人
・市の魅力発信	9人
・地域経済の活性化	8人
・その他	1人

<選択肢>

- ・いつでもどこでも申請できる行政サービスの実現(行かない窓口)
- ・個別最適化された教育機会の実現(教育機会の最適化)
- ・「先進的なまち」として市をブランド化し魅力発信(市の魅力発信)
- ・IT企業等の誘致による地域経済の活性化(地域経済の活性化)
- ・その他